



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 裕

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 2020年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,122	10.6	718	37.9	736	37.4	517	36.9
2019年3月期第3四半期	6,845	23.6	1,157	136.9	1,175	128.5	821	86.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 557百万円 (25.1%) 2019年3月期第3四半期 743百万円 (58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	72.08	
2019年3月期第3四半期	114.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	10,597	7,035	66.4	979.20
2019年3月期	11,020	6,873	62.4	956.70

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,035百万円 2019年3月期 6,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		35.00	45.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	9.4	980	30.8	1,000	30.6	700	31.3	97.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,728,540 株	2019年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	543,766 株	2019年3月期	543,706 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,184,808 株	2019年3月期3Q	7,185,069 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなかで、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、地政学リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、国内では、企業の設備投資計画が見直された影響から、前期は多数の受注があった大口案件が減少したことに加えて、海外向けでも、韓国企業の設備投資に遅れが生じたため、低調な結果となりました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

定量ポンプの国内市場は、受注高の伸び悩みにより、当上期の増収基調から一転して減収となりました。

当社の主力製品である「スムーズフローポンプ」については、EV車載関連や5G関連・素材産業などのケミカル業界において世界経済の減速懸念から設備投資に様子見感があり、受注に前期ほどの力強さが見られず、売上が減少しました。また、汎用モーターポンプについても、前期は水処理設備の更新や増設案件が追い風となったプラント・設備関連向けや滅菌・殺菌市場の需要にも減速感があり、数字を落としました。

海外市場は、前期の大型投資の反動で減収となりました。韓国の二次電池業界における設備投資の動きが期初の見込みより悪化し、「スムーズフローポンプ」の売上が減少したほか、米国でもソレノイドポンプ及び汎用モーターポンプの販売が低迷し、前年同四半期を下回りました。

このような中において、微量制御型スムーズフローの「Qシリーズ」は着実に販売実績を積み上げており、2015年の発売開始以来、新たなお客様との出会いを創出し、ユーザーの要求に応えラインナップを拡充したことにより、幅広い用途で評価をいただけるようになりました。実験・ラボ段階から本ラインへのスケールアップによる「スムーズフローポンプ」の販売に繋がり、今後の業績貢献が期待されます。

ケミカル移送ポンプは、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が国内外の製鉄プラント向けで好調に推移し、売上を伸ばしました。

計測機器・装置は、水処理設備向けで「pH中和処理装置」の大型物件や設備更新案件などを受注したことにより、底堅く推移しました。

流体機器及びケミカルタンクは、前期の積極投資の反動もあり、多くの業界向けで売上が減少しました。

以上の結果、売上高は、61億22百万円（前年同四半期比10.6%減）と減少しました。利益面につきましては、売上構成の変化により利益率が低下したほか、減収要因が大きく響き、売上総利益は、27億83百万円（同12.8%減）と減少しました。また、組織体制の強化に伴う人件費の増加により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は、7億18百万円（同37.9%減）、経常利益は、7億36百万円（同37.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億17百万円（同36.9%減）とそれぞれ減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億23百万円減少し、105億97百万円となりました。

流動資産は3億67百万円減少し、66億3百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加1億15百万円、売上債権の減少5億60百万円、たな卸資産の増加88百万円であります。

固定資産は55百万円減少し、39億94百万円となりました。増減内訳は、有形固定資産の減少18百万円、無形固定資産の増加4百万円、投資その他の資産の減少41百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて5億84百万円減少し、35億61百万円となりました。

流動負債は9億58百万円減少し、22億45百万円となりました。主な減少内訳は、仕入債務の減少67百万円、短期借入金の減少3億99百万円、未払法人税等の減少3億40百万円、賞与引当金の減少1億31百万円であります。

固定負債は3億73百万円増加し、13億16百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加3億50百万円、退職給付に係る負債の増加24百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億61百万円増加し、70億35百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益5億17百万円から配当金3億95百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加1億22百万円、その他有価証券評価差額金の増加49百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.4%から66.4%へと4.0ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,437	2,053,153
受取手形及び売掛金	3,894,188	3,333,446
商品及び製品	89,310	154,189
仕掛品	8,315	3,003
原材料及び貯蔵品	1,002,699	1,031,357
その他	41,459	30,635
貸倒引当金	△3,018	△2,657
流動資産合計	6,970,393	6,603,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,496,229	1,452,520
その他（純額）	921,968	946,853
有形固定資産合計	2,418,198	2,399,374
無形固定資産		
投資その他の資産	108,222	112,824
投資有価証券	873,736	847,849
その他	650,933	633,974
貸倒引当金	△1,190	—
投資その他の資産合計	1,523,479	1,481,823
固定資産合計	4,049,899	3,994,022
資産合計	11,020,292	10,597,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,629,756	1,562,163
短期借入金	455,324	56,000
未払法人税等	355,747	15,654
賞与引当金	260,000	128,357
その他	503,369	483,633
流動負債合計	3,204,197	2,245,809
固定負債		
長期借入金	—	350,000
退職給付に係る負債	716,464	741,123
その他	225,882	224,905
固定負債合計	942,346	1,316,028
負債合計	4,146,543	3,561,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	730,599	730,599
利益剰余金	5,426,350	5,548,815
自己株式	△322,333	△322,437
株主資本合計	6,727,615	6,849,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,180	230,112
繰延ヘッジ損益	243	129
土地再評価差額金	2,853	2,853
為替換算調整勘定	15,438	△1,113
退職給付に係る調整累計額	△52,581	△46,644
その他の包括利益累計額合計	146,133	185,337
純資産合計	6,873,749	7,035,313
負債純資産合計	11,020,292	10,597,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,845,764	6,122,753
売上原価	3,653,580	3,338,880
売上総利益	3,192,184	2,783,873
販売費及び一般管理費	2,034,523	2,065,156
営業利益	1,157,660	718,716
営業外収益		
受取利息	2,336	6,979
受取配当金	13,934	14,467
持分法による投資利益	1,188	2,318
為替差益	500	—
その他	15,507	10,286
営業外収益合計	33,467	34,052
営業外費用		
支払利息	1,921	1,302
売上割引	4,834	6,104
為替差損	—	19
寄付金	8,000	8,000
その他	805	1,150
営業外費用合計	15,561	16,577
経常利益	1,175,566	736,191
特別利益		
固定資産売却益	—	11,594
特別利益合計	—	11,594
特別損失		
固定資産除却損	3,559	—
特別損失合計	3,559	—
税金等調整前四半期純利益	1,172,007	747,786
法人税等	350,715	229,910
四半期純利益	821,291	517,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	821,291	517,876

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	821,291	517,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,339	49,932
繰延ヘッジ損益	△93	△113
為替換算調整勘定	△875	△16,551
退職給付に係る調整額	7,007	5,937
その他の包括利益合計	△77,301	39,204
四半期包括利益	743,989	557,080
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,989	557,080
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

3. その他

(1)売上高

(単位：百万円)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
定量ポンプ	4,225	61.7	3,573	58.3	△651	△15.4
ケミカル移送ポンプ	532	7.8	543	8.9	10	2.1
計測機器・装置	1,031	15.1	1,026	16.8	△4	△0.4
流体機器	323	4.7	286	4.7	△36	△11.4
ケミカルタンク	479	7.0	421	6.9	△58	△12.1
その他	253	3.7	270	4.4	17	6.9
合計 (うち海外)	6,845 (1,071)	100.0 (15.7)	6,122 (602)	100.0 (9.8)	△723 (△469)	△10.6 (△43.8)

(2)受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
受 注 高	定量ポンプ	4,209	60.3	3,707	57.4	△502	△11.9
	ケミカル移送ポンプ	597	8.6	557	8.6	△40	△6.8
	計測機器・装置	1,070	15.3	1,110	17.1	40	3.7
	流体機器	354	5.1	371	5.7	16	4.6
	ケミカルタンク	489	7.0	448	6.9	△40	△8.3
	その他	261	3.7	281	4.3	19	7.6
	合計 (うち海外)	6,982 (902)	100.0 (12.9)	6,476 (765)	100.0 (11.8)	△506 (△137)	△7.3 (△15.2)
受 注 残 高	定量ポンプ	595	51.7	578	45.4	△16	△2.8
	ケミカル移送ポンプ	138	12.0	177	14.0	39	28.4
	計測機器・装置	224	19.5	273	21.5	49	21.8
	流体機器	91	7.9	137	10.8	46	50.5
	ケミカルタンク	76	6.6	70	5.6	△5	△7.6
	その他	25	2.2	34	2.7	9	36.4
	合計 (うち海外)	1,151 (135)	100.0 (11.8)	1,272 (230)	100.0 (18.1)	121 (95)	10.5 (70.2)